



ミハイル・プレトニョフ
ピアノ・リサイタル

Mikhail Pletnev
PIANO RECITAL

©Irina Shymchak

2025年6月4日(水) 19時開演
サントリーホール

7:00p.m., Wednesday, June 4, 2025 at Suntory Hall

主催: ジャパン・アーツ

協力: KAWAI

Program

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第8番 ハ短調 Op.13 「悲愴」

L.v. Beethoven: Piano Sonata No. 8 in C minor, Op.13 "Pathétique"

- | | |
|----------------------------------|---|
| 第1楽章：グラヴィエー — アレグロ・ディ・モルト・コン・ブリオ | 1st Mov.: Grave — Allegro di molto con brio |
| 第2楽章：アダージョ・カンタービレ | 2nd Mov.: Adagio cantabile |
| 第3楽章：アレグロ | 3rd Mov.: Allegro |

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第14番 嬰ハ短調 Op.27-2 「月光」

L. v. Beethoven: Piano Sonata No.14 in C-sharp minor, Op.27-2 "Moonlight"

- | | |
|-------------------|----------------------------|
| 第1楽章：アダージョ・ソステヌート | 1st Mov.: Adagio sostenuto |
| 第2楽章：アレグレット | 2nd Mov.: Allegretto |
| 第3楽章：プレスト・アジタート | 3rd Mov.: Presto agitato |

* * *

グリーグ：抒情小品集より

E. Grieg: Excerpts from Lyric Pieces

- | | | | |
|---------------|---------------|----------------------|----------------------|
| 「祖国の歌」Op.12-8 | National Song | 「即興的ワルツ」Op.47-1 | Valse Impromptu |
| 「子守歌」Op.38-1 | Cradle Song | 「おばあさんのメヌエット」Op.68-2 | Grandmother's Minuet |
| 「蝶々」Op.43-1 | Butterfly | 「過ぎ去った日々」Op.57-1 | Vanished Days |
| 「エレジー」Op.38-6 | Elegy | 「夏の夕べ」Op.71-2 | Summer Evening |
| 「メロディ」Op.38-3 | Melody | 「スケルツォ」Op.54-5 | Scherzo |
| 「小鳥」Op.43-4 | Little Bird | 「孤独なさすらい人」Op.43-2 | Solitary Wanderer |
| 「小川」Op.62-4 | Brooklet | 「ノクターン」Op.54-4 | Notturmo |
| 「郷愁」Op.57-6 | Nostalgia | 「小妖精」Op.71-3 | Puck |

ミハイル・プレトニョフ ピアノ・リサイタル 2025年日本公演

- | | |
|---------------------------------------|---------------------|
| 5月31日(土) [名古屋] 愛知県芸術劇場コンサートホール | 主催：CBCテレビ |
| 6月4日(水) [東京] サントリーホール | 主催：ジャパン・アーツ |
| 6月7日(土) [西宮] 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール | 主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター |
| 6月8日(日) [川崎] ミューザ川崎シンフォニーホール | 主催：神奈川芸術協会 |

Profile



プレトニョフは、ピアニスト、指揮者、作曲家、とそれぞれの分野において並外れた才能を発揮し、世界中の観客を魅了している芸術家である。

1957年、音楽家の両親のもと、ロシアのアルハンゲリスクに生まれ、幼少の頃から音楽に非凡な才能を示す13歳で中央音楽院、1974年モスクワ音楽院に入学。ヤコフ・フリエール、レフ・ヴラセンコに師事した。1978年、21歳でチャイコフスキー国際コンクール・ピアノ部門においてゴールド・メダル及び第1位を獲得。驚くべき技巧、深い知性に裏づけられた演奏、完璧にコントロールされた美しい音色で、カリスマ的人気を誇る現代最高のピアニストの一人として活躍。

1990年、ロシア内外の個人、会社、財団等の支援によって資金を得、オーケストラ、ロシア・ナショナル管弦楽団(RNO)を創設。彼の舞台芸術ヴィジョンに賛同して、国内の多くの優れた音楽家たちがこのRNOの始動に参加。そして彼のリーダーシップのもと、RNOは数年のうちに世界有数のオーケストラとして認められるようになった。

客演指揮者としてもロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団、フィルハーモニア管弦楽団をはじめとする数々のオーケストラを指揮。2011年2月13&14日にはドレスデン空爆記念日演奏会にてドレスデン国立歌劇場管弦楽団を指揮し、ブラームスの「ドイツ・レクイエム」を演奏した。またボリショイ・オペラにおける「スベードの女王」の指揮で大成功を収めているほか、コンサート形式のオペラ指揮も行っている。

2015年より東京フィルハーモニー交響楽団の特別客演指揮者に就任。作曲家としては、「Classical Symphony」、ジャズ組曲、ヴィオラ協奏曲、ほか数多くの作品を発表し、近年ではステイヴン・イッサーリスのために書いたチェロ・ソナタが大成功を収めている。

2022年、プレトニョフは新たなオーケストラ、ラフマニノフ国際管弦楽団(RIO)を創設、東西ヨーロッパの優れた音楽家がスロヴァキアのブラティスラヴァに集まり、最初のレコーディングを行った。今後多くのレコーディング・プロジェクトおよびコンサート・ツアーが予定されている。



Mikhail Pletnev

Program Notes

鈴木 淳史(音楽評論家) Atsufumi Suzuki

年を追うごとに、エレガントな響きが際立ってきたプレトニョフ。さらに、どこか達観し切っていると
思われるほどに、その風格も増すばかりだ。

プログラム前半は、ベートーヴェンの2曲のソナタを弾く。プレトニョフの手にかかれば、いかにも
「楽聖」の顔をした厳めしさとは無縁だ。柔らかく鮮やかな色彩で、和声の移り変わりも丁寧に描く。
表現の拡大を求めて新しい道へと踏み出した、ベートーヴェンのみずみずしい境地を描いて
くれるだろう。

プログラム後半は、グリークの「抒情小品集」からのセレクション。さまざまな瞬間ごとに生じる、
みずみずしくも美しい光景をそのまま音楽にしたようなこれらの作品は、プレトニョフにとっても
得意なレパートリーの一つ。浮遊感にあふれ、カラリと晴れわたったタッチから生み出される、
一つひとつの瞬間の煌めきを味わいたい。

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第8番 ハ短調 Op.13「悲愴」

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770-1827)のソナタでは、もっとも人気の高い曲のひとつ。
その理由として考えられるのは、この作曲家が得意としたハ短調作品ならではの表現力がより
強力に、そして洗練されたスタイルで書かれているからでもある。ソナタ全体の方向性を圧縮した
ような冒頭楽章の序奏。そして、それぞれの楽章は確固とした個性を持つものの、その動機的な
結びつきも緊密だ。

第1楽章：グラーヴェ ハ短調 - アレグロ・ディ・モルト・コン・プリオ ハ短調、序奏付きソナタ形式。
フランス風序曲に発想を得た、序奏にあたる「グラーヴェ」の深々と重厚な響き。続いて、何かに
取り憑かれたように走り出すアレグロ。変ホ長調で登場する第2主題は変ニ長調で確保。序奏は、
展開部とコーダ直前にも姿を表わし、この曲の気分を支配する。

第2楽章：アダージョ・カンタービレ 変イ長調、三部形式。物憂げではあるものの、どこか遠い
目で見えるような、澄み切った主題。中間部は、ハ短調で高音部と低音部が対話をするように進む。

第3楽章：アレグロ ハ短調、A-B-A-C-A-B-A-コーダによるロンド形式。ロンド主題Aは、第1楽章
の第2主題から派生したもの。ハ短調から変ホ長調へと流れを落ち着かせるB、第2楽章の主題と
同じ調で、その雰囲気をも再現するC。コーダでは、第1楽章序奏の気分も再現される。

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第14番 嬰ハ短調 Op.27-2「月光」

ベートーヴェンが31歳のときに書いたソナタ。「月光」なるタイトルは、この曲の第1楽章について、
弟子であったルートヴィヒ・レルシュターブが「ルツェルン湖で月の光に揺らいでいる小舟のよう」と
形容したことが発端だった。作曲家自身は、ソナタ第13番とセットで「幻想曲風ソナタ」と呼んで
いたという。伝統的なソナタの形式から離れ、作曲家の表現意欲がほとばしる、即興的性格が
色濃い作品である。

全3楽章からなり、日本音楽の様式「序破急」を想起させる次第にテンポが速くなる構成だ。
それぞれの楽章が固有の美を香り立たせつつ、一つの流れとなって高揚感を増していく。

第1楽章：アダージョ・ソステヌート 嬰ハ短調、三部形式。幻想的な三連符の上にミステリアスな
主題が奏でられる主部と、高域に上がった三連符が不安な表情をうかがわせる中間部から成る。

第2楽章：アレグレット 変ニ長調、穏やかなスケルツォ。嬰ハ短調の同名異音調(変ニ長調)を
採用するのは、ロマン派の和声技法に通じる先駆けともなった。

第3楽章：プレスト・アジタート 嬰ハ短調。技術的に難易度が高いソナタ形式。力強い主題が
疾走、劇的に展開し、壮絶な高揚感をもたらす。

グリーク：抒情小品集より

ノルウェーを代表する作曲家、エドヴァルド・グリーク(1843-1907)。21歳から58歳までの37年間、
彼はおりにふれてピアノのための小品を書き続けた。それらは10巻に分けて「抒情小品集」として
出版、その曲数は66曲にも達している。

自然や伝説をモチーフとした、スケッチ風の音楽が並ぶ。詩情が爽やかに流れ、郷愁がほのかに
香り立つ。民族的な舞曲もあれば、アンビエントな穏やかさに満ちた曲も。それぞれが風景や感情の
一コマを切り取ったような、俳句を思わせる簡潔さ。技巧を重ね、濃密さを連ねていくヨーロッパ
大陸のものとは違い、北欧ならではのクールなロマンティシズムも感じさせよう。

「祖国の歌」Op.12-8 威風堂々としたノルウェー賛歌

「子守歌」Op.38-1 優しい旋律による主部と、翳りのある中間部のコントラスト

「蝶々」Op.43-1 音型が軽やかに上下動する様子が蝶々を思わせる

「エレジー」Op.38-6 ショパン風の心が細やかに揺れ動く悲しみ

「メロディ」Op.38-3 穏やかな分散和音のなかに、メロディが浮き上がる

「小鳥」Op.43-4 鳥の鳴き声を模したトリルで開始

「小川」Op.62-4 光がきらきらと輝き、それが流れになって進んでいく

「郷愁」Op.57-6 故郷を懐かしむかのような旋律が寂しげに奏でられる

「即興的ワルツ」Op.47-1 即興風に気分が次々に変化していくワルツ

「おばあさんのメヌエット」Op.68-2 上品で古雅な雰囲気をもつメヌエット

「過ぎ去った日々」Op.57-1 これまでの人生を振り返るような、感傷的かつ劇的な変化に富んだ音楽
「夏の夕べ」Op.71-2 北欧の夏の夜を思わせる、爽やかな空気と揺めく光

「スケルツォ」Op.54-5 テンポの速いノルウェー風の舞曲で、装飾音を伴った優しい旋律による
中間部をもつ

「孤独なさすらい人」Op.43-2 孤独感を表すような物悲しい旋律

「ノクターン」Op.54-4 澄み切った夜の空気を思わせる主部に、鳥の鳴き声も聴こえる中間部

「小妖精」Op.71-3 スタッカートを多用し、神出鬼没の小妖精たちが森のなかを駆けていく
様子を描く

【アーティストサポート】へ、多くの皆様からお気持ちをお寄せいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

寄せられたご支援は、アーティストの様々な活動に幅広く使わせていただいております。

「人のいるところには夢がいる」2026年には創業50周年を迎えるジャパン・アーツの理念です。

どんな時代においても、音楽・芸術から生まれる感動は、

人々に夢・希望・生きる力を与えてくれます。

これまでの活動レポートは、ジャパン・アーツのホームページに

掲載しておりますので、どうぞご覧ください。

今年も引き続き変わらぬご支援をどうぞよろしくお願いします。



アーティストサポートの詳細は
こちらをご覧ください。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆ 2025年度ご支援いただいた皆さま ◆ ◆ ◆ ◆ ◆

<年間サポート>

【個人サポーター】

朝妻 幸雄 M.I. 岩村 和央 上村 憲裕 K.O. 大原 志津子 片山 由美子 K.K. 北村 眞
新貝 康司 M.T. R.T. 武田 健二 伊達 朱実 田中 治郎 東條 Lilly 苫米地 英人 K.N.
児子 弥生 S.N. 長谷川 智子 樋口 美枝子 平山 美由紀 藤野 盾臣 細沼 康子
松尾 芳樹 真野 美千代 安田 牧子
(匿名希望 8名)

【法人サポーター】

三和プリンティング株式会社 株式会社 青林堂 三井住友カード株式会社
株式会社ソーシャルキャピタルマネジメント きづきアセット株式会社
株式会社ロジックアンドエモーション ライフプラン株式会社

<ウィーン少年合唱団 オフタイム・サポート>

K.I. K.K. Y.K. Rimiko T.H. 細沼 康子 M.H. M.M. 水足 久美子 水足 秀一郎 ロロコミ
(匿名希望 7名)

<ウィーン少年合唱団 ツアー・サポート>

江田 明子 K.K. Rimiko M.T. 平山 美由紀 細沼 康子 M.M. 柳瀬 美佐子 ロロコミ
(匿名希望 7名)

<千住真理子に「花を贈ろう!」プロジェクト>

石坂 雅美 北村 眞 城戸 健二 桑原 仁志 小森 桂子 佐藤 亨 穴倉 剛 田中 治郎
H.H. 道又 利 村上 晃彦 横田 邦子
(匿名希望 7名)

2025年5月19日現在 敬称略

お知らせ

現在2025年度年間サポートを受付中です。詳細は、ジャパン・アーツの公式WEBサイトおよび公演チラシ挟み込みの申込用紙等をご覧ください。